

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (連結)

平成19年2月2日

上場会社名 エーザイ株式会社

(コード番号: 4523 東証・大証 第1部)

(URL <http://www.eisai.co.jp>)

代表者 代表執行役社長 内藤 晴夫

問合せ先責任者 執行役 コーポレートコミュニケーション・IR担当 藤吉 彰

TEL: 03-3817-5120

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結子会社 (新規) 4社: エーザイ・アール・アンド・ディー・マネジメント株式会社、
 Eisai (Singapore) Pte. Ltd.、Eisai Clinical Research Singapore Pte. Ltd.、
 EF-Eisai Farmaceutica, Unipessoal Lda.

連結子会社 (除外) 2社: Eisai Pharma-Chem Europe Ltd.、Eisai U.S.A. Inc.

持分法適用関連会社 (除外) 1社: Eisai-Novartis Verwaltungs GmbH

2. 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (連結)

(1) 経営成績の進捗状況

第3四半期 (平成18年10月1日～平成18年12月31日) (百万円未満は切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	181,398	8.4	34,194	3.8	36,055	5.1	23,336	6.1
18年3月期第3四半期	167,280	16.6	32,949	23.4	34,316	29.0	21,997	33.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	82.03	81.90
18年3月期第3四半期	76.96	76.87

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

9カ月通算 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期9カ月通算	500,788	11.3	83,837	7.2	87,800	7.8	55,846	7.1
18年3月期9カ月通算	449,910	11.2	78,218	14.5	81,415	16.6	52,156	18.4
18年3月期	601,252		95,704		100,025		63,410	

	1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期9カ月通算	195.85	195.55
18年3月期9カ月通算	182.49	182.31
18年3月期	221.86	221.61

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期末	756,607	548,079	71.1	1,894.24
18年3月期第3四半期末	712,055	505,238	71.0	1,767.63
18年3月期	747,231	519,215	69.5	1,816.23

(注)① (参考)自己資本 平成19年3月期第3四半期末 538,048百万円 平成18年3月期第3四半期末 505,238百万円
 平成18年3月期 519,215百万円

② 平成18年3月期第3四半期末および平成18年3月期の数値につきましては、従来の「株主資本」、「株主資本比率」および「1株当たり株主資本」を、「純資産」、「自己資本比率」および「1株当たり純資産」の欄にそれぞれ記載しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

第3四半期（平成18年10月1日～平成18年12月31日）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	4,688	△30,901	△15,594	134,744
18年3月期第3四半期	9,212	△10,099	△11,737	150,165

9カ月通算（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期9カ月通算	41,304	△52,106	△40,710	134,744
18年3月期9カ月通算	49,116	△24,235	△21,864	150,165
18年3月期	87,053	△29,513	△21,843	183,278

[参考] 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（個別）

(1) 経営成績の進捗状況

第3四半期（平成18年10月1日～平成18年12月31日）（百万円未満は切り捨てて表示しております。）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年3月期第3四半期	94,932 1.8	21,876 △8.9	22,306 △9.1	14,344 △9.7
18年3月期第3四半期	93,274 12.0	24,013 14.8	24,552 18.8	15,893 23.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	50.42	50.34
18年3月期第3四半期	55.61	55.54

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

9カ月通算（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年3月期9カ月通算	265,046 4.3	52,227 △8.1	53,048 △9.0	34,482 △8.1
18年3月期9カ月通算	254,231 8.4	56,807 5.6	58,270 6.3	37,515 7.3
18年3月期	331,959	65,376	67,338	43,890

	1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期9カ月通算	120.93	120.74
18年3月期9カ月通算	131.26	131.14
18年3月期	153.56	153.39

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期末	545,776	458,793	84.0	1,614.18
18年3月期第3四半期末	547,395	456,527	83.4	1,597.21
18年3月期	572,912	465,211	81.2	1,627.33

(注)① (参考)自己資本 平成19年3月期第3四半期末 458,498百万円 平成18年3月期第3四半期末 456,527百万円
平成18年3月期 465,211百万円

② 平成18年3月期第3四半期末および平成18年3月期の数値につきましては、従来の「株主資本」、「株主資本比率」および「1株当たり株主資本」を、「純資産」、「自己資本比率」および「1株当たり純資産」の欄にそれぞれ記載しております。

【第3四半期】(平成18年10月1日～平成18年12月31日)

[連結業績概要]

- 当3カ月間の連結売上高は、1,813億98百万円(前年同期比8.4%増)となりました。
- アルツハイマー型痴呆(認知症)治療剤「アリセプト」の売上高は664億85百万円(前年同期比26.1%増)で、うち日本が140億17百万円(同16.0%増)、米国が417億21百万円(同31.9%増、現地通貨では30.9%増)となりました。
プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット」(米国名「アシフェックス」)は474億94百万円(前年同期比11.9%増)で、うち日本は90億40百万円(同6.2%増)、米国が343億16百万円(同11.5%増、現地通貨では10.9%増)となりました。
ライグランド社(米国)から製品買収した抗がん剤4品の米国での販売と、欧州の販売提携会社への2品の供給を開始いたしました。
- 所在地別の外部顧客に対する売上高は、日本が前年同期比1.0%減、北米は同16.1%増、欧州は同23.0%増、アジア他は同21.0%増となりました。
- 研究開発費は266億32百万円(前年同期比17.7%増)、販売費・一般管理費は918億58百万円(同12.4%増)となりました。売上原価は287億12百万円(前年同期比4.2%減)で、売上原価率は15.8%(前年同期より2.1ポイント減)となりました。
- 営業利益は341億94百万円(前年同期比3.8%増)、経常利益は360億55百万円(同5.1%増)、第3四半期純利益は233億36百万円(同6.1%増)となり、1株当たり四半期純利益は82円3銭(前年同期より5円7銭増)となりました。
- 営業活動から得たキャッシュ・フローは、46億88百万円(前年同期より45億24百万円減)、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得、ライグランド社からの抗がん剤4品の製品買収等による無形固定資産の取得等により309億1百万円の支出(前年同期より208億1百万円増)、財務活動によるキャッシュ・フローは、中間配当金の支払い等により155億94百万円の支出(前年同期より38億57百万円増)となりました。

【9カ月通算】(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

[連結業績概要]

- 当9カ月間の連結業績は次のとおりとなりました。

売上高	5,007億88百万円	(前年同期比	11.3%増)
営業利益	838億37百万円	(同	7.2%増)
経常利益	878億00百万円	(同	7.8%増)
四半期純利益	558億46百万円	(同	7.1%増)
- 主力品の売上高におきましては、「アリセプト」が1,827億27百万円(前年同期比28.1%増)、「パリエット/アシフェックス」は1,309億23百万円(同14.8%増)とそれぞれ増加いたしました。所在地別の外部顧客に対する売上高は、北米、欧州、アジア他において順調に伸びいたしました。
- 研究開発活動への積極的資源投入を行う一方で、原価率の改善等により営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増益となりました。

[セグメントの状況]

(各セグメントの売上高は外部顧客に対するものです)

(1) 事業の種類別セグメント

<医薬品分野>

- すべての地域において「アリセプト」と「パリエット／アシフェックス」が伸長いたしました。
- 医薬品分野の売上高は4,849億57百万円(前年同期比11.7%増)、営業利益は856億99百万円(同6.6%増)となりました。

<その他の分野>

- 食品添加物、化学品、製薬用機械等の売上高は158億30百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は12億96百万円(同28.7%減)となりました。

(2) 所在地別セグメント

<日 本>

- 売上高は2,239億42百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は576億90百万円(同9.3%減)となりました。
- 医療用医薬品では、「アリセプト」の売上高が379億12百万円(前年同期比16.4%増)、「パリエット」の売上高が236億80百万円(同9.3%増)とそれぞれ伸長いたしました。

<北 米>

- 売上高は2,201億5百万円(前年同期比19.8%増)、営業利益は214億35百万円(同35.1%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は1,144億67百万円(前年同期比35.8%増、現地通貨では31.0%増)、「アシフェックス」の売上高は947億55百万円(同12.5%増、現地通貨では8.6%増)となりました。

<欧 州>

- 売上高は408億15百万円(前年同期比24.2%増)、営業利益は34億27百万円(同0.9%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は258億14百万円(前年同期比14.1%増)、「パリエット」の売上高は90億96百万円(同62.0%増)となりました。
- 平成18年11月に医薬品販売会社EF-Eisai Farmacêutica, Unipessoal Lda.をポルトガルに設立いたしました。

<ア ジ ア 他>

- 売上高は159億24百万円(前年同期比26.8%増)、営業利益は28億16百万円(同28.5%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は45億33百万円(前年同期比44.2%増)、「パリエット」の売上高は33億90百万円(同34.4%増)とそれぞれ伸長いたしました。

<海 外 計>

- 日本を除く海外所在地別売上高の合計は、2,768億45百万円(前年同期比20.8%増)となり、売上高比率は55.3%(前年同期より4.4ポイント増)となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

- 当9カ月間の営業活動から得たキャッシュ・フローは、413億4百万円（前年同期より78億12百万円減）となりました。税金等調整前四半期純利益は872億97百万円、減価償却費は192億32百万円、売上債権の増加額は153億71百万円、法人税等の支払額は453億71百万円であります。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、521億6百万円の支出（前年同期より278億71百万円増）となりました。そのうち、有形固定資産の取得に173億66百万円、無形固定資産の取得に262億31百万円を支出しました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、407億10百万円の支出（前年同期より188億45百万円増）となりました。配当金の支払いに299億13百万円、自己株式の市場買付けに110億60百万円を支出いたしました。
- 以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物は、1,347億44百万円（前期末より485億34百万円減）となりました。

【研究開発などの状況】

[開発品の状況]

- 当社グループは、主に神経、がん領域に経営資源を集中し、積極的な研究開発活動を行っております。研究開発マネジメント機能を担う子会社エーザイ・アール・アンド・ディー・マネジメント株式会社（東京都）においてグローバルなレベルで最適な意思決定を行い、研究開発の効率性と生産性の向上をはかり、新薬を計画通り円滑かつタイムリーに創出するための活動を推進しております。
- 抗がん剤「E7389」は、米国で乳がんを対象としたサブパートH申請用試験およびフェーズⅢ試験が進行中であります。欧州では、乳がんを対象としたフェーズⅢ試験および肉腫を対象としたフェーズⅡ試験を開始いたしました。（サブパートH申請：重症または生命に危険を与える病気に対する新薬のうち一定の要件を備えたものに対して米国食品医薬品局が加速承認する申請制度）
- AMPA受容体拮抗剤「E2007」は、欧米でパーキンソン病を対象としたフェーズⅢ試験が進行中であります。さらに、てんかん、多発性硬化症、片頭痛予防についてもPOC（Proof of Concept：創薬概念の検証）の早期完了を目指しております。
- エンドトキシン拮抗剤「E5564」（一般名：エリトラン）は、欧米で重症敗血症を対象としたフェーズⅢ試験が進行中であります。
- 平成19年1月、欧州委員会より、抗てんかん剤「イノベロン」（一般名：ルフィナマイド）について、レノックス・ガストー症候群の併用療法の承認を取得いたしました。
- 平成18年12月、日本でB型ボツリヌス毒素製剤「E2014」について、瘻性斜頸の効能で承認申請をいたしました。
- 平成19年1月、日本で虚血性心疾患治療剤「ワソラン」（一般名：塩酸ベラパミル）の心房細動、発作性上室性頻拍の効能追加の承認申請をいたしました。
- リウマチ治療剤「D2E7」（一般名：アダリムマブ、ヒト抗ヒトTNF α モノクローナル抗体）は、日本においてクローン病を対象としたフェーズⅡ／Ⅲ試験を開始いたしました。

- 平成18年10月、米国で「アリセプト」の高度アルツハイマー型痴呆(認知症)の効能追加の承認を取得いたしました。
- 平成19年1月、日本で「パリエット」のヘリコバクター・ピロリ除菌療法にかかる効能および用法追加の承認を取得いたしました。
- 日本でフェーズⅡ試験段階にありました「E0167」(一般名:メナテトレノン)の肝細胞がん再発抑制に関する臨床試験を中止いたしました。

[研究開発体制・主な提携などの状況]

- 平成18年10月、創薬の最上流である生命科学研究を担うカン研究所(兵庫県)は、神戸市のバイオクラスターへ移転いたしました。これを機に、基礎研究から創薬研究へのトランスレーショナル・リサーチを一層推進し、研究活動の充実をはかってまいります。
- 平成18年10月、アジア諸国における臨床研究を戦略的に実施するために、臨床研究会社 Eisai Clinical Research Singapore Pte. Ltd.をシンガポールに設立いたしました。
- 平成19年1月、米国ボストン研究所の新研究棟が完成いたしました。同研究所に米国の臨床導入候補化合物の創薬研究機能を集約・拡充するとともに、日本、英国の研究拠点との連携を強めて、グローバルな創薬研究活動のさらなる充実をはかってまいります。
- 平成18年10月、当社と三光純薬株式会社は、富士レビオ株式会社と同社の全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス」で測定可能な、間質性肺炎診断補助マーカー KL-6測定試薬に関する共同研究開発契約を締結いたしました。

3. 平成19年3月期 通期の見通し（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

[連結業績の見通し]

- 通期の連結業績の見通しにつきましては、当第3四半期までの業績の進捗状況を勘案し、昨年10月の発表値から次のとおり修正いたします。

	今回発表値		10月発表値 (B)	増減額 (A-B)	増減率	(参考) 5月発表値
	(A)	前期比				
売上高	6,680億円	11.1%増	6,530億円	150億円	2.3%	6,400億円
営業利益	1,070億円	11.8%増	1,050億円	20億円	1.9%	1,010億円
経常利益	1,110億円	11.0%増	1,085億円	25億円	2.3%	1,040億円
当期純利益	700億円	10.4%増	685億円	15億円	2.2%	670億円

* 1株当たり予想当期純利益（通期） 246円44銭

<売上高>

- 売上高につきましては、前回予想に対し150億円の増収となる6,680億円を見込んでおります。
- 好調を維持している主力品の「アリセプト」は2,465億円、「パリエット／アシフェックス」は1,720億円と、前回予想を上回る売上高を見込んでおります。

<利益>

- 引き続き中期戦略計画達成に向けた施策を進めることで販売管理費の増加も見込まれますが、営業利益は1,070億円と前回予想より20億円増額を見込んでおります。
- 経常利益は前回予想より25億円増額の1,110億円、当期純利益は前回予想より15億円増額となる700億円を見込んでおります。

[期末配当金の見通し]

- 期末配当金の見通しは、昨年10月の発表予想値1株当たり55円を次のとおり修正いたします。
- 期末配当金は1株当たり65円（前年同期より15円増）を予定いたします。
1株当たり中間配当金55円とあわせ、年間配当金は1株当たり120円（前期より30円増）を見込んでおります。なお、通期の予想純資産配当率（D O E）は6.4%を見込んでおります。

[参考]

(個別業績の見通し)

- 通期の個別業績の見通しにつきましても、次のとおり修正いたします。

	今回発表値		10月発表値 (B)	増減額 (A-B)	増減率	(参考) 5月発表値
	(A)	前期比				
売上高	3,450億円	3.9%増	3,460億円	△10億円	△0.3%	3,460億円
営業利益	610億円	6.7%減	640億円	△30億円	△4.7%	640億円
経常利益	620億円	7.9%減	650億円	△30億円	△4.6%	650億円
当期純利益	390億円	11.1%減	410億円	△20億円	△4.9%	410億円

* 1株当たり予想当期純利益（通期） 137円30銭

4. 将来予想に関する記述と事業等のリスク

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれます。
- 当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスク項目は、次のとおりです。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、ならびに金融市況および為替の動向に関するリスク。

なお、上記リスク項目の詳細に関しては、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

(添付資料)

1-1) 連結貸借対照表(資産の部)

区 分	前連結会計年度 (平成18年3月31日)		当第3四半期末 (平成18年12月31日)		増 減	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	
(資産の部)						
I 流動資産						
1 現金及び預金	74,163		47,168			
2 受取手形及び売掛金	148,720		165,973			
3 有価証券	120,021		99,495			
4 たな卸資産	44,949		50,968			
5 繰延税金資産	29,272		28,459			
6 その他	15,806		15,639			
7 貸倒引当金	△333		△353			
流動資産合計	432,601	57.9	407,351	53.8	△25,250	
II 固定資産						
1 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	66,715		72,525			
(2) 機械装置及び運搬具	25,464		24,260			
(3) 土地	17,052		17,215			
(4) 建設仮勘定	9,300		5,843			
(5) その他	10,149	128,682	10,523	130,368	17.2	1,686
2 無形固定資産		43,206		63,218	8.4	20,011
3 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	105,452		113,331			
(2) 長期貸付金	61		19			
(3) 繰延税金資産	27,612		32,193			
(4) その他	10,393		10,846			
(5) 貸倒引当金	△779	142,741	△721	155,669	20.6	12,928
固定資産合計		314,630		349,256	46.2	34,626
資産合計		747,231	100.0	756,607	100.0	9,376

1 - 2) 連結貸借対照表 (負債及び純資産の部)

区 分	前連結会計年度 (平成 18 年 3 月 31 日)		当第 3 四半期末 (平成 18 年 12 月 31 日)		増 減 金 額 (百万円)
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	24,405		15,771		
2 短期借入金	413		353		
3 未払金	53,171		54,958		
4 未払費用	42,602		41,193		
5 未払法人税等	23,415		12,021		
6 売上割戻引当金	27,826		36,229		
7 その他の引当金	781		659		
8 その他	5,538		8,868		
流動負債合計	178,154	23.9	170,055	22.5	△8,098
II 固定負債					
1 繰延税金負債	91		96		
2 退職給付引当金	35,577		33,509		
3 役員退職慰労引当金	1,317		1,260		
4 その他	3,578		3,606		
固定負債合計	40,565	5.4	38,473	5.1	△2,091
負債合計	218,719	29.3	208,528	27.6	△10,190
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	—		44,985		
2 資本剰余金	—		55,222		
3 利益剰余金	—		454,908		
4 自己株式	—		△42,495		
株主資本合計	—	—	512,621	67.7	15,300
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	—		19,632		
2 為替換算調整勘定	—		5,794		
評価・換算差額等合計	—	—	25,427	3.4	3,531
III 新株予約権	—	—	294	0.0	294
IV 少数株主持分	—	—	9,735	1.3	439
純資産合計	—	—	548,079	72.4	19,567
負債純資産合計	—	—	756,607	100.0	9,376
(少数株主持分)					
少数株主持分	9,296	1.2	—	—	
(資本の部)					
I 資本金	44,985	6.0	—	—	
II 資本剰余金	55,222	7.4	—	—	
III 利益剰余金	429,025	57.4	—	—	
IV その他有価証券評価差額金	20,327	2.7	—	—	
V 為替換算調整勘定	1,567	0.2	—	—	
VI 自己株式	△31,913	△4.2	—	—	
資本合計	519,215	69.5	—	—	
負債、少数株主持分 及び資本合計	747,231	100.0	—	—	

(注) 純資産の部の増減は、前連結会計年度の対応する科目との差を表示しております。

2. 連結損益計算書

第3四半期（12月31日に終了した3カ月間）

区 分	前第3四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)		当第3四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)			増 減	
	金 額 (百万円)	百分比 (%)	金 額 (百万円)	百分比 (%)	金 額 (百万円)		
I 売上高		167,280	100.0		181,398	100.0	14,118
II 売上原価		29,930	17.9		28,708	15.8	△1,222
売上総利益		137,349	82.1		152,690	84.2	15,340
返品調整引当金繰入額		42	0.0		3	0.0	△38
差引売上総利益		137,307	82.1		152,686	84.2	15,378
III 販売費及び一般管理費							
1 研究開発費	22,628		(13.5)	26,632		(14.7)	
2 販売費・一般管理費	81,729	104,357	62.4	91,858	118,491	65.3	14,134
営業利益		32,949	19.7		34,194	18.9	1,244
IV 営業外収益		1,514	0.9		1,923	1.0	408
V 営業外費用		148	0.1		62	0.0	△85
経常利益		34,316	20.5		36,055	19.9	1,738
VI 特別利益		127	0.1		139	0.0	11
VII 特別損失		90	0.1		201	0.1	111
税金等調整前四半期純利益		34,353	20.5		35,992	19.8	1,638
法人税、住民税及び事業税	13,223			11,261			
法人税等調整額	△990	12,233	7.3	1,284	12,546	6.9	313
少数株主利益		122	0.0		109	0.0	△13
四半期純利益		21,997	13.2		23,336	12.9	1,339

9カ月通算（12月31日に終了した9カ月間）

区 分	前 9 カ月 通 算 (自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日)		当 9 カ月 通 算 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日)			増 減	
	金 額 (百万円)	百分比 (%)	金 額 (百万円)	百分比 (%)	金 額 (百万円)		
I 売上高		449,910	100.0		500,788	100.0	50,877
II 売上原価		78,657	17.5		81,977	16.4	3,320
売上総利益		371,252	82.5		418,810	83.6	47,557
返品調整引当金繰入(△戻入)額		11	0.0		△48	△0.0	△59
差引売上総利益		371,241	82.5		418,858	83.6	47,617
III 販売費及び一般管理費							
1 研究開発費	67,029		(14.9)	78,875		(15.8)	
2 販売費・一般管理費	225,993	293,022	65.1	256,145	335,021	66.9	41,998
営業利益		78,218	17.4		83,837	16.7	5,618
IV 営業外収益		3,663	0.8		5,062	1.0	1,399
V 営業外費用		466	0.1		1,099	0.2	632
経常利益		81,415	18.1		87,800	17.5	6,385
VI 特別利益		168	0.0		401	0.1	232
VII 特別損失		588	0.1		904	0.2	316
税金等調整前四半期純利益		80,996	18.0		87,297	17.4	6,301
法人税、住民税及び事業税	34,691			34,162			
法人税等調整額	△6,194	28,496	6.3	△3,105	31,057	6.2	2,561
少数株主利益		343	0.1		393	0.0	50
四半期純利益		52,156	11.6		55,846	11.2	3,690

3. 連結剰余金計算書及び連結株主資本等変動計算書

連結剰余金計算書

区 分	前9カ月通算 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	
	金 額 (百万円)	
(資本剰余金の部)		
I 資本剰余金期首残高		55,222
II 資本剰余金期末残高		55,222
(利益剰余金の部)		
I 利益剰余金期首残高		387,077
II 利益剰余金増加高		
1 四半期純利益		52,156
III 利益剰余金減少高		
1 配当金	21,435	
2 自己株式処分差損	18	21,453
IV 利益剰余金期末残高		417,780

連結株主資本等変動計算書

9カ月通算 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等			新株 予約権	少数 株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	為替換 算調整 勘定	評価・ 換算 差額等 合計			
前連結会計年度末残高 (平成18年3月31日)	44,985	55,222	429,025	△31,913	497,320	20,327	1,567	21,895	—	9,296	528,512
当9カ月通算 変動額											
剰余金の配当(注1)			△14,293		△14,293						△14,293
剰余金の配当(注2)			△15,619		△15,619						△15,619
四半期純利益			55,846		55,846						55,846
自己株式処分差損			△50		△50						△50
自己株式の取得				△11,163	△11,163						△11,163
自己株式の処分				581	581						581
株主資本以外の項目 の当9カ月通算 変動額(純額)						△695	4,226	3,531	294	439	4,266
当9カ月通算 変動額合計	—	—	25,882	△10,581	15,300	△695	4,226	3,531	294	439	19,567
当第3四半期末残高 (平成18年12月31日)	44,985	55,222	454,908	△42,495	512,621	19,632	5,794	25,427	294	9,735	548,079

(注) 1 平成18年5月の取締役会における利益処分項目であります。

2 平成18年10月の取締役会における剰余金の配当であります。

4. 連結キャッシュ・フロー計算書

第3四半期（12月31日に終了した3カ月間）

	前第3四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	当第3四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	増減
区 分	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期純利益	34,353	35,992	
2 減価償却費	6,520	6,954	
3 減損損失	20	3	
4 貸倒引当金の増加(△減少)額	△86	12	
5 受取利息及び受取配当金	△1,180	△1,569	
6 支払利息	16	15	
7 持分法による投資利益	△7	△10	
8 固定資産売却益・処分損	38	43	
9 退職給付費用	1,411	—	
10 有価証券・投資有価証券売却損(△益)	△4	0	
11 売上債権の増加額	△21,291	△10,771	
12 たな卸資産の減少(△増加)額	1,394	△1,726	
13 仕入債務の増加(△減少)額	1,390	△5,700	
14 その他流動負債の増加(△減少)額	4,731	△1,125	
15 売上割戻引当金の増加(△減少)額	△579	5,479	
16 退職給付引当金の減少額	—	△174	
17 その他	△1,767	△4,663	
小 計	24,959	22,759	△2,199
18 利息及び配当金の受取額	1,149	1,537	
19 利息の支払額	△13	△10	
20 法人税等の支払額	△16,882	△19,598	
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,212	4,688	△4,524
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 有価証券の取得による支出	△14	87	
2 有価証券の売却・償還による収入	515	1,150	
3 有形固定資産の取得による支出	△5,114	△5,731	
4 有形固定資産の売却による収入	53	203	
5 無形固定資産の取得による支出	△7,106	△23,581	
6 投資有価証券の取得による支出	△7,383	△2,975	
7 投資有価証券の売却・償還による収入	4,202	185	
8 3カ月超預金の純増加額	△361	△379	
9 その他	5,109	140	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,099	△30,901	△20,801
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金の純減少額	△288	△61	
2 配当金の支払額	△11,432	△15,619	
3 その他	△15	87	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,737	△15,594	△3,857
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2,651	1,572	△1,079
V 現金及び現金同等物の減少額	△9,972	△40,234	△30,262
VI 現金及び現金同等物の期首残高	160,137	174,979	14,841
VII 現金及び現金同等物の期末残高	150,165	134,744	△15,421

9カ月通算（12月31日に終了した9カ月間）

	前9カ月通算 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	当9カ月通算 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	増減
区 分	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期純利益	80,996	87,297	
2 減価償却費	18,546	19,232	
3 減損損失	230	48	
4 貸倒引当金の増加(△減少)額	△69	0	
5 受取利息及び受取配当金	△2,998	△4,473	
6 支払利息	37	48	
7 持分法による投資利益	△0	△2	
8 固定資産売却益・処分損	279	624	
9 退職給付費用	4,409	—	
10 有価証券・投資有価証券売却益	△5	△184	
11 有価証券・投資有価証券評価損	3	12	
12 売上債権の増加額	△18,658	△15,371	
13 たな卸資産の増加額	△1,499	△4,954	
14 仕入債務の増加(△減少)額	3,122	△9,459	
15 その他流動負債の増加額	10,579	4,251	
16 売上割戻引当金の増加(△減少)額	△3,249	7,818	
17 退職給付引当金の減少額	—	△2,096	
18 その他	△3,961	△286	
小 計	87,760	82,506	△5,253
19 利息及び配当金の受取額	2,821	4,235	
20 利息の支払額	△29	△66	
21 法人税等の支払額	△41,435	△45,371	
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,116	41,304	△7,812
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 有価証券の取得による支出	△54	△62	
2 有価証券の売却・償還による収入	2,070	6,683	
3 有形固定資産の取得による支出	△18,356	△17,366	
4 有形固定資産の売却による収入	221	289	
5 無形固定資産の取得による支出	△13,244	△26,231	
6 投資有価証券の取得による支出	△10,151	△16,766	
7 投資有価証券の売却・償還による収入	10,391	2,566	
8 3カ月超預金の純増加額	△190	△746	
9 その他	5,078	△470	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,235	△52,106	△27,871
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金の純減少額	△439	△65	
2 自己株式の市場買付けに伴う支出	—	△11,060	
3 配当金の支払額	△21,435	△29,913	
4 少数株主への配当金の支払額	△49	△48	
5 その他	59	376	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,864	△40,710	△18,845
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4,719	2,978	△1,740
V 現金及び現金同等物の増加(△減少)額	7,736	△48,534	△56,270
VI 現金及び現金同等物の期首残高	142,429	183,278	40,849
VII 現金及び現金同等物の期末残高	150,165	134,744	△15,421

5. セグメント情報

1) 事業の種類別セグメント情報

第3四半期（12月31日に終了した3カ月間）

（単位：百万円）

		前第3四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	当第3四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)
医薬品分野	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	161,673	176,091
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	69	79
	計	161,742	176,170
	営業費用	128,096	141,185
	営業利益	33,646	34,984
その他の分野	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	5,607	5,307
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,295	4,650
	計	9,903	9,957
	営業費用	9,236	9,601
	営業利益	666	355
計	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	167,280	181,398
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,365	4,729
	計	171,645	186,128
	営業費用	137,333	150,787
	営業利益	34,312	35,340
消去又は全社	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	—	—
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	(4,365)	(4,729)
	計	(4,365)	(4,729)
	営業費用	(3,002)	(3,583)
	営業利益	(1,362)	(1,146)
連結	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	167,280	181,398
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
	計	167,280	181,398
	営業費用	134,330	147,204
	営業利益	32,949	34,194

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

9カ月通算（12月31日に終了した9カ月間）

（単位：百万円）

		前9カ月通算 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	当9カ月通算 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)
医薬品分野	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	434,045	484,957
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	147	197
	計	434,192	485,155
	営業費用	353,833	399,455
	営業利益	80,359	85,699
その他の分野	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	15,865	15,830
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	12,091	13,324
	計	27,956	29,154
	営業費用	26,139	27,858
	営業利益	1,817	1,296
計	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	449,910	500,788
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	12,239	13,522
	計	462,149	514,310
	営業費用	379,972	427,314
	営業利益	82,176	86,995
消去又は全社	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	—	—
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	(12,239)	(13,522)
	計	(12,239)	(13,522)
	営業費用	(8,281)	(10,363)
	営業利益	(3,957)	(3,158)
連結	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	449,910	500,788
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
	計	449,910	500,788
	営業費用	371,691	416,950
	営業利益	78,218	83,837

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

2) 所在地別セグメント情報

第3四半期（12月31日に終了した3カ月間）

（単位：百万円）

		前第3四半期 (自 平成17年10月1日 至 平成17年12月31日)	当第3四半期 (自 平成18年10月1日 至 平成18年12月31日)
日 本	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	81,238	80,446
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	19,463	21,251
	計	100,701	101,698
	営業費用	74,069	78,120
	営業利益	26,632	23,577
北 米	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	69,723	80,975
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	7,516	9,564
	計	77,239	90,539
	営業費用	69,885	82,354
	営業利益	7,353	8,185
欧 州	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	11,659	14,336
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,474	4,315
	計	14,134	18,652
	営業費用	13,418	17,242
	営業利益	715	1,410
アジア他	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	4,659	5,640
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1
	計	4,660	5,641
	営業費用	3,990	4,673
	営業利益	669	967
計	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	167,280	181,398
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	29,455	35,133
	計	196,736	216,531
	営業費用	161,363	182,390
	営業利益	35,372	34,141
消去又は全社	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	—	—
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	(29,455)	(35,133)
	計	(29,455)	(35,133)
	営業費用	(27,032)	(35,185)
	営業利益	(2,422)	52
連 結	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	167,280	181,398
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
	計	167,280	181,398
	営業費用	134,330	147,204
	営業利益	32,949	34,194

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

①北 米：米国、カナダ

②欧 州：英国、フランス、ドイツ等

③アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

- 3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。

9カ月通算（12月31日に終了した9カ月間）

（単位：百万円）

		前9カ月通算 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	当9カ月通算 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)
日 本	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	220,814	223,942
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	54,001	60,945
	計	274,815	284,888
	営業費用	211,194	227,198
	営業利益	63,621	57,690
北 米	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	183,681	220,105
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	21,068	27,174
	計	204,749	247,280
	営業費用	188,886	225,844
	営業利益	15,862	21,435
欧 州	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	32,857	40,815
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	6,436	13,001
	計	39,294	53,816
	営業費用	35,897	50,389
	営業利益	3,396	3,427
アジア他	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	12,557	15,924
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2	3
	計	12,559	15,927
	営業費用	10,367	13,111
	営業利益	2,192	2,816
計	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	449,910	500,788
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	81,509	101,125
	計	531,419	601,913
	営業費用	446,346	516,544
	営業利益	85,073	85,369
消去又は全社	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	—	—
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	(81,509)	(101,125)
	計	(81,509)	(101,125)
	営業費用	(74,654)	(99,593)
	営業利益	(6,854)	(1,531)
連 結	売上高		
	(1)外部顧客に対する売上高	449,910	500,788
	(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
	計	449,910	500,788
	営業費用	371,691	416,950
	営業利益	78,218	83,837

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 本邦以外の区分に属する主な国または地域
 - ①北 米：米国、カナダ
 - ②欧 州：英国、フランス、ドイツ等
 - ③アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等
- 3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。

3) 海外売上高

第3四半期（12月31日に終了した3カ月間）

		前第3四半期 (自 平成17年10月1日 至 平成17年12月31日)	当第3四半期 (自 平成18年10月1日 至 平成18年12月31日)
北 米	売上高（百万円）	72,092	82,886
	連結売上高に占める割合（%）	43.1	45.7
欧 州	売上高（百万円）	15,283	18,710
	連結売上高に占める割合（%）	9.1	10.3
ア ジ ア 他	売上高（百万円）	5,318	6,266
	連結売上高に占める割合（%）	3.2	3.5
海 外 計	売上高（百万円）	92,694	107,863
	連結売上高に占める割合（%）	55.4	59.5
連結売上高（百万円）		167,280	181,398

(注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

①北 米：米国、カナダ

②欧 州：英国、フランス、ドイツ等

③アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。

9カ月通算（12月31日に終了した9カ月間）

		前9カ月通算 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	当9カ月通算 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)
北 米	売上高（百万円）	190,471	226,269
	連結売上高に占める割合（%）	42.3	45.2
欧 州	売上高（百万円）	44,929	52,821
	連結売上高に占める割合（%）	10.0	10.5
ア ジ ア 他	売上高（百万円）	14,253	18,113
	連結売上高に占める割合（%）	3.2	3.6
海 外 計	売上高（百万円）	249,654	297,204
	連結売上高に占める割合（%）	55.5	59.3
連結売上高（百万円）		449,910	500,788

(注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

①北 米：米国、カナダ

②欧 州：英国、フランス、ドイツ等

③アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。

2006.12

参考資料

平成19年3月期第3四半期財務・業績



2007年2月2日



エーザイ株式会社

お問い合わせ

コーポレートコミュニケーション部・IR部
TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>

目次

	ページ
I. 連結財務ハイライト	1
II. 連結損益計算書	2
III. 連結貸借対照表	8
IV. 連結キャッシュ・フロー計算書	10
V. 個別情報	11
VI. 四半期業績の推移	17
VII. 主要開発品	23
VIII. 主なイベント	26

- * 当資料中の数字は、四捨五入で表示しております。
- * 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりであります。
- * 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

為替レート

		米国 (円/US\$)	欧州 (円/€)	英国 (円/£)
2006年3月期9カ月通算	期中平均レート	112.10	136.91	201.18
	期末日レート	118.07	139.83	203.74
2006年3月期	期中平均レート	113.31	137.85	202.16
	期末日レート	117.47	142.81	205.16
2007年3月期9カ月通算	期中平均レート	116.19	147.95	217.55
	期末日レート	119.11	156.50	233.66
2007年3月期	第4四半期予想レート	120.00	150.00	230.00

【将来予想に関する記述と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれます。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスク項目は、次のとおりです。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、ならびに金融市況および為替の動向に関するリスク。

I. 連結財務ハイライト

1. 損益計算書項目

	9カ月通算			通期	
	2006年	2007年	前年同期比 %	2006年	2007年
	3月期	3月期		3月期	3月期(予)
売上高	4,499	5,008	111.3	6,013	6,680
売上原価	787	819	104.1	1,045	1,100
研究開発費	670	789	117.7	932	1,070
販売費・一般管理費	2,260	2,561	113.3	3,078	3,440
営業利益	782	838	107.2	957	1,070
経常利益	814	878	107.8	1,000	1,110
四半期(当期)純利益	522	558	107.1	634	700
			(前年同期差)		
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	182.5	195.8	13.4	221.9	246.4
1株当たり配当金(円)	—	—	—	90.0	120.0

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2. 貸借対照表項目

	2006年		
	3月末	12月末	増減額
	総資産	7,472	7,566
純資産	5,285	5,481	196
自己資本	5,192	5,380	188
自己資本比率(%)	69.5	71.1	1.6

*過年度の実績については当期の表示区分に組み替えております。

3. 資本的支出及び減価償却費の状況

	9カ月通算			通期	
	2006年	2007年	増減額	2006年	2007年
	3月期	3月期		3月期	3月期(予)
資本的支出額	198	400	202	370	525
有形固定資産	131	137	6	210	230
無形固定資産	67	263	196	161	295
減価償却費	185	192	7	250	270

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

4. キャッシュ・フロー計算書項目

	9カ月通算			通期	
	2006年	2007年	増減額	2006年	2006年
	3月期	3月期		3月期	3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	491	413	△78	871	871
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242	△521	△279	△295	△295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△219	△407	△188	△218	△218
現金及び現金同等物の期末残高	1,502	1,347	△154	1,833	1,833
フリー・キャッシュ・フロー	177	△20	△197	436	436

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出＋その他現事業維持のための支出等)

Ⅱ. 連結損益計算書

1. 損益計算書

(億円)

	9カ月通算						備考
	2006年 3月期	売上比 %	2007年 3月期	売上比 %	前年同期比 %	増減額	
売上高	4,499	100.0	5,008	100.0	111.3	509	■売上高 <増加要因> ・アリセプト、パリエット/ アシフェックスの伸長
売上原価	787	17.5	820	16.4	104.2	33	
返品調整引当金繰入(△戻入)額	0	0.0	△0	△0.0	—	△1	
売上総利益	3,712	82.5	4,189	83.6	112.8	476	■研究開発費 <増加要因> ・臨床研究テーマの進捗
研究開発費	670	14.9	789	15.8	117.7	118	
販売費・一般管理費	2,260	50.2	2,561	51.1	113.3	302	
営業利益	782	17.4	838	16.7	107.2	56	
営業外収益	37	0.8	51	1.0		14	
営業外費用	5	0.1	11	0.2		6	
経常利益	814	18.1	878	17.5	107.8	64	
特別利益	2	0.0	4	0.1		2	
特別損失	6	0.1	9	0.2		3	
税金等調整前四半期純利益	810	18.0	873	17.4	107.8	63	
法人税、住民税及び事業税	347	7.7	342	6.8	98.5	△5	
法人税等調整額	△62	△1.4	△31	△0.6		31	
少数株主利益	3	0.1	4	0.0		1	
四半期純利益	522	11.6	558	11.2	107.1	37	

2. 事業の種類別セグメント情報

2-1 事業の種類別売上高

	9カ月通算		(億円)
			通期
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
売上高	4,499	5,008	6,013
医薬品分野	4,340	4,850	5,798
(自社品比率) (%)	(89.2)	(90.2)	(88.8)
日本	2,064	2,101	2,654
北米	1,830	2,191	2,521
欧州	321	399	446
アジア他	126	159	176
その他の分野	159	158	214
日本	144	139	196
海外	15	19	18

*外部顧客に対する売上高であります。

*日本以外の地域区分は次のとおりであります。

①北米：米国、カナダ

②欧州：英国、フランス、ドイツ等

③アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

2-2 事業の種類別営業利益

	9カ月通算		(億円)
			通期
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
営業利益	782	838	957
医薬品分野	804	857	984
その他の分野	18	13	24
消去又は全社	△40	△32	△50

3. 所在地別セグメント情報

3-1 所在地別売上高

	9カ月通算		通期
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
	(億円)		
売上高	4,499	5,008	6,013
日本	2,208	2,239	2,851
北米	1,837	2,201	2,531
欧州	329	408	455
アジア他	126	159	176
海外計	2,291	2,768	3,162
海外比率 (%)	50.9	55.3	52.6

*外部顧客に対する売上高であります。

3-2 所在地別営業利益

	9カ月通算		通期
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
	(億円)		
営業利益	782	838	957
日本	636	577	742
北米	159	214	225
欧州	34	34	46
アジア他	22	28	28
消去又は全社	△69	△15	△84

4. 海外売上高

	9カ月通算		通期
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
	(億円)		
売上高	4,499	5,008	6,013
海外売上高	2,497	2,972	3,439
北米	1,905	2,263	2,623
欧州	449	528	617
アジア他	143	181	199
海外売上高比率 (%)	55.5	59.3	57.2

*日本以外の地域区分は次のとおりであります。

- ①北米：米国、カナダ
- ②欧州：英国、フランス、ドイツ等
- ③アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

5. グローバル品売上高（自社）

5-1 アリセプト地域別売上高

		9か月通算		通期
		2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
日本	億円	326	379	423
米国	億円 (百万US\$)	843 (752)	1,145 (985)	1,199 (1,058)
英国	億円 (百万£)	8 (4)	10 (4)	11 (5)
フランス	億円 (百万€)	158 (115)	192 (130)	210 (153)
ドイツ	億円 (百万€)	60 (44)	56 (38)	78 (57)
欧州計	億円	226	258	299
アジア	億円	31	45	44
総計	億円	1,426	1,827	1,965

*2007年3月期の売上高予想の総計は2,465億円を見込んでおります。

5-2 パリエット/アシフェックス地域別売上高

		9か月通算		通期
		2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
日本	億円	217	237	276
米国	億円 (百万US\$)	842 (751)	948 (816)	1,143 (1,009)
英国	億円 (百万£)	41 (21)	28 (13)	51 (25)
ドイツ	億円 (百万€)	11 (8)	16 (11)	14 (10)
イタリア	億円 (百万€)	4 (3)	47 (32)	25 (18)
欧州計	億円	56	91	90
アジア	億円	25	34	35
総計	億円	1,140	1,309	1,545

*2007年3月期の売上高予想の総計は1,720億円を見込んでおります。

5-3 ソネグラン地域別売上高

		9か月通算		通期
		2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	112 (100)	25 (22)	127 (112)
欧州、アジア	億円	3	12	5
総計	億円	115	37	131

*2007年3月期の売上高予想の総計は50億円を見込んでおります。

参考：海外医薬品事業

Eisai Inc. (米国) / 医薬品の製造・販売

		9カ月通算		通期
		2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
売上高	億円 (百万US\$)	1,847 (1,648)	2,213 (1,904)	2,547 (2,248)
営業利益	億円 (百万US\$)	150 (133)	199 (172)	186 (164)
四半期(当期)純利益	億円 (百万US\$)	101 (90)	145 (124)	130 (115)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万US\$)	403 (360)	527 (454)	542 (479)

衛材(中国)薬業有限公司(中国) / 医薬品の製造・販売

		9カ月通算		通期
		2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
売上高	億円 (百万元)	46 (349)	49 (341)	66 (490)
営業利益	億円 (百万元)	10 (73)	6 (45)	13 (97)
四半期(当期)純利益	億円 (百万元)	9 (66)	5 (38)	13 (95)

*衛材(中国)薬業有限公司の決算日は12月31日であります。

*為替レートは次のとおりであります。

2005年1月～9月	期中平均レート	13.10円/元
2006年1月～9月	期中平均レート	14.46円/元
2005年1月～12月	期中平均レート	13.45円/元

Eisai Korea Inc. (韓国) / 医薬品の販売

		9カ月通算		通期
		2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期
売上高	億円 (十億Won)	38 (35)	55 (45)	54 (48)
営業利益	億円 (十億Won)	4 (4)	8 (7)	6 (5)
四半期(当期)純利益	億円 (十億Won)	2 (2)	6 (5)	3 (3)

*為替レートは次のとおりであります。

2005年4月～12月	期中平均レート	0.1100円/Won
2006年4月～12月	期中平均レート	0.1232円/Won
2005年4月～2006年3月	期中平均レート	0.1126円/Won

6. 販売費及び一般管理費の状況

6-1 研究開発費

(億円)

	9カ月通算		通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
売上高	4,499	5,008	6,013	6,680
研究開発費	670	789	932	1,070
売上高比率 (%)	14.9	15.8	15.5	16.0

6-2 販売費・一般管理費

(億円)

	9カ月通算		通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
売上高	4,499	5,008	6,013	6,680
販売費・一般管理費	2,260	2,561	3,078	3,440
人件費	474	518	645	—
販売費	1,462	1,696	1,982	—
管理費他	324	348	451	—
売上高比率 (%)	50.2	51.1	51.2	51.5

6-3 販売費及び一般管理費（研究開発費を含む）

(億円)

	9カ月通算		通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
売上高	4,499	5,008	6,013	6,680
販売費及び一般管理費（研究開発費を含む）	2,930	3,350	4,010	4,510
売上高比率 (%)	65.1	66.9	66.7	67.5

Ⅲ. 連結貸借対照表

1. 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2006年 3月末	構成比 %	2006年 12月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動資産	4,326	57.9	4,074	53.8	94.2	△253	
現金及び預金	742		472			△270	■現金及び預金
受取手形及び売掛金	1,487		1,660			173	■有価証券 <減少要因>
有価証券	1,200		995			△205	・製品買収に伴う支出 ・法人税等の中間納付 ・中間配当金の支払
たな卸資産	449		510			60	
繰延税金資産	293		285			△8	
その他	158		156			△2	
貸倒引当金	△3		△4			△0	
固定資産	3,146	42.1	3,493	46.2	111.0	346	
有形固定資産	1,287	17.2	1,304	17.2	101.3	17	
建物及び構築物	667		725			58	
機械装置及び運搬具	255		243			△12	
土地	171		172			2	
建設仮勘定	93		58			△35	
その他	101		105			4	
無形固定資産	432	5.8	632	8.4	146.3	200	■無形固定資産 <増加要因>
投資その他の資産	1,427	19.1	1,557	20.6	109.1	129	・抗がん剤の製品買収
投資有価証券	1,055		1,133			79	
長期貸付金	1		0			△0	
繰延税金資産	276		322			46	
その他	104		108			5	
貸倒引当金	△8		△7			1	
資産合計	7,472	100.0	7,566	100.0	101.3	94	

2. 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2006年 3月末	構成比 %	2006年 12月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動負債	1,782	23.9	1,701	22.5	95.5	△81	
支払手形及び買掛金	244		158			△86	■支払手形及び買掛金 <減少要因> ・買掛金の支払
短期借入金	4		4			△1	
未払金	532		550			18	
未払費用	426		412			△14	
未払法人税等	234		120			△114	■未払法人税等 <減少要因> ・法人税等の中間納付
売上割戻引当金	278		362			84	
その他の引当金	8		7			△1	
その他	55		89			33	
固定負債	406	5.4	385	5.1	94.8	△21	
繰延税金負債	1		1			0	
退職給付引当金	356		335			△21	
役員退職慰労引当金	13		13			△1	
その他	36		36			0	
負債合計	2,187	29.3	2,085	27.6	95.3	△102	
株主資本	4,973	66.6	5,126	67.7	103.1	153	
資本金	450		450			—	
資本剰余金	552		552			—	
利益剰余金	4,290		4,549			259	
自己株式	△319		△425			△106	■自己株式（控除項目） <増加要因> ・市場買付け (8月、200万株)
評価・換算差額等	219	2.9	254	3.4	116.1	35	
その他有価証券評価差額金	203		196			△7	
為替換算調整勘定	16		58			42	
新株予約権	—	—	3	0.0	—	3	
少数株主持分	93	1.2	97	1.3	104.7	4	
純資産合計	5,285	70.7	5,481	72.4	103.7	196	
負債純資産合計	7,472	100.0	7,566	100.0	101.3	94	

*過年度の実績については当期の表示区分に組み替えております。

IV. 連結キャッシュ・フロー計算書

	(億円)			備考
	9カ月通算			
	2006年 3月期	2007年 3月期	増減額	
税金等調整前四半期純利益	810	873	63	
減価償却費	185	192	7	
その他の非キャッシュ損益項目	1	4	3	
営業資産・負債の増減	△77	△203	△126	■営業資産・負債の増減 <減少要因> ・買掛金の減少
その他	△42	△41	1	
(小計)	878	825	△53	
利息等の受取及び支払額	28	42	14	
法人税等の支払額	△414	△454	△39	
営業活動によるキャッシュ・フロー	491	413	△78	
資本的支出	△316	△436	△120	■資本的支出 <増加要因> ・抗がん剤の製品買収
その他現事業維持のための支出等	2	3	1	
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	23	△76	△98	
その他	49	△12	△61	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242	△521	△279	
配当金の支払額	△214	△299	△85	■配当金の支払額 <増加要因> ・75円/株→105円/株
短期資金の借入・返済額	△4	△1	4	
自己株式の市場買付けに伴う支出	-	△111	△111	
その他	0	3	3	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△219	△407	△188	
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	30	△17	
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	77	△485	△563	
現金及び現金同等物の期首残高	1,424	1,833	408	
現金及び現金同等物の期末残高	1,502	1,347	△154	

*当期より退職給付に係るキャッシュ・フローの表示区分を見直しております。これに伴い、過年度の実績についても変更後の区分に組み替えております。

	(億円)			備考
	9カ月通算			
	2006年 3月期	2007年 3月期	増減額	
フリー・キャッシュ・フロー	177	△20	△197	

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出＋その他現事業維持のための支出等)

V. 個別情報

1. 個別財務ハイライト

1-1 損益計算書項目

	9カ月通算			通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	前年同期比 %	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
売上高	2,542	2,650	104.3	3,320	3,450
売上原価	601	612	101.9	780	775
研究開発費	660	775	117.4	929	1,050
販売費・一般管理費	713	741	103.9	958	1,015
営業利益	568	522	91.9	654	610
経常利益	583	530	91.0	673	620
四半期(当期)純利益	375	345	91.9	439	390

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

1-2 貸借対照表項目

	2006年		増減額
	3月末	12月末	
総資産	5,729	5,458	△271
純資産	4,652	4,588	△64
自己資本	4,652	4,585	△67
自己資本比率(%)	81.2	84.0	2.8

*過年度の実績については当期の表示区分に組み替えております。

1-3 資本的支出及び減価償却費の状況

	9カ月通算			通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	増減額	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
資本的支出額	110	140	30	245	210
有形固定資産	61	52	△9	112	100
無形固定資産	49	88	39	134	110
減価償却費	120	131	11	164	160

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

1-4 キャッシュ・フロー計算書項目

	9カ月通算			通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	増減額	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
営業活動によるキャッシュ・フロー	299	82	△217	558	558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121	△343	△222	△135	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214	△405	△192	△212	△212
現金及び現金同等物の期末残高	760	338	△422	1,005	1,005
フリー・キャッシュ・フロー	140	△78	△217	309	309

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出＋その他現事業維持のための支出等)

2. 売上高の状況

(億円)

	9カ月通算			通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	前年同期比 %	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
売上高	2,542	2,650	104.3	3,320	3,450
医療用医薬品	1,651	1,687	102.2	2,115	2,160
（自社品比率）（%）	(84.0)	(82.7)	—	(82.3)	—
医薬品輸出	396	392	99.0	539	540
一般用医薬品等	139	150	108.1	176	185
その他の分野（食品添加物、化学品）	14	9	66.3	18	15
工業所有権等収益	343	412	120.1	472	550

3. 地域別輸出状況

(億円)

	9カ月通算			通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	前年同期比 %	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
売上高	2,542	2,650	104.3	3,320	3,450
輸出高	726	801	110.4	997	1,075
北米	507	560	110.6	696	—
欧州	179	193	107.4	249	—
アジア他	40	48	121.9	52	—
売上高比率（%）	28.6	30.2	—	30.0	31.2

*地域区分は次のとおりであります。

- ①北米：米国、カナダ
- ②欧州：英国、フランス、ドイツ等
- ③アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

*輸出高には工業所有権等収益を含めて表示しております。

4. 医療用医薬品主力製品売上高

(億円)

	9か月通算			通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	前年同期比 %	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
アルツハイマー型痴呆(認知症)治療剤 アリセプト	326	379	116.4	423	490
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	249	245	98.4	321	315
プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤 パリエット	217	237	109.3	276	305
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	169	153	90.3	217	205
非イオン性造影剤 イオメロン	69	66	95.3	87	80
筋緊張改善剤 ミオナール	67	64	95.5	85	80
骨粗鬆症治療用ビタミンK ₂ 剤 グラケー	67	59	89.2	84	80
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	26	59	230.2	40	80
消化管検査前処置・低血糖治療剤 グルカゴンG・ノボ	35	33	94.8	44	40
虚血性心疾患治療剤 ニトロールR	35	31	87.9	44	40
アレルギー性疾患治療剤 アゼブチン	20	18	87.7	29	25
その他	371	343	92.5	466	420
医療用医薬品計	1,651	1,687	102.2	2,115	2,160

*「アクトネル」は2005年10月より当社が販売し、売上を計上しております。

5. 医薬品輸出高

(億円)

	9か月通算			通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	前年同期比 %	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
アリセプト	172	160	92.6	228	210
パリエット/アシフェックス	193	202	104.9	268	275
その他	31	30	98.0	43	55
医薬品輸出計	396	392	99.0	539	540

6. 一般用医薬品等主力製品グループ売上高

(億円)

	9か月通算			通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	前年同期比 %	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	67	70	104.4	83	85
メコバラミン主剤「ナボリンEB錠」等 ナボリングループ	11	15	130.9	14	15
天然ビタミンE剤「ユベラックスα2」等 ビタミンEグループ	15	14	98.3	18	15
緑の胃ぐすり「サクロン」等 サクロングループ	15	14	89.9	19	20
その他	31	38	121.3	42	50
一般用医薬品等計	139	150	108.1	176	185

7. 販売費及び一般管理費の状況

7-1 研究開発費

(億円)

	9カ月通算		通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
売上高	2,542	2,650	3,320	3,450
研究開発費	660	775	929	1,050
海外研究開発費	295	395	427	—
(海外比率) (%)	(44.7)	(50.9)	(46.0)	—
売上高比率 (%)	26.0	29.3	28.0	30.4

7-2 販売費・一般管理費

(億円)

	9カ月通算		通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
売上高	2,542	2,650	3,320	3,450
販売費・一般管理費	713	741	958	1,015
人件費	259	242	344	—
販売費	278	312	378	—
管理費他	176	187	235	—
売上高比率 (%)	28.0	27.9	28.8	29.4

7-3 販売費及び一般管理費 (研究開発費を含む)

(億円)

	9カ月通算		通期	
	2006年 3月期	2007年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
売上高	2,542	2,650	3,320	3,450
販売費及び一般管理費 (研究開発費を含む)	1,373	1,516	1,886	2,065
売上高比率 (%)	54.0	57.2	56.8	59.9

8. 貸借対照表項目

<資産の部>

(億円)

	2006年		増減額
	3月末	12月末	
流動資産	2,782	2,305	△477
固定資産	2,947	3,153	206
有形固定資産	827	780	△47
無形固定資産	265	304	39
投資その他の資産	1,855	2,069	214
資産合計	5,729	5,458	△271

<負債及び純資産の部>

(億円)

	2006年		増減額
	3月末	12月末	
流動負債	746	561	△185
固定負債	331	309	△22
負債合計	1,077	870	△207
株主資本	4,454	4,394	△61
評価・換算差額等	198	191	△6
新株予約権	—	3	3
純資産合計	4,652	4,588	△64
負債純資産合計	5,729	5,458	△271

*過年度の実績については当期の表示区分に組み替えております。

9. キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	9カ月通算		増減額
	2006年 3月期	2007年 3月期	
税引前四半期純利益	582	533	△49
減価償却費	120	131	11
その他の非キャッシュ損益項目	△1	3	5
営業資産・負債の増減	△89	△254	△165
その他	△23	△9	13
(小計)	589	404	△185
利息等の受取及び支払額	13	12	△1
法人税等の支払額	△303	△334	△31
営業活動によるキャッシュ・フロー	299	82	△217
資本的支出	△162	△172	△10
その他現事業維持のための支出等	2	12	10
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	13	△90	△104
その他	25	△93	△118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121	△343	△222
配当金の支払額	△214	△299	△85
自己株式の市場買付けに伴う支出	—	△111	△111
その他	1	4	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214	△405	△192
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0	0
現金及び現金同等物の減少額	△36	△667	△631
現金及び現金同等物の期首残高	795	1,005	210
現金及び現金同等物の期末残高	760	338	△422

*当期より退職給付に係るキャッシュ・フローの表示区分を見直しております。これに伴い、過年度の実績についても変更後の区分に組み替えております。

(億円)

	9カ月通算		増減額
	2006年 3月期	2007年 3月期	
フリー・キャッシュ・フロー	140	△78	△217

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出＋その他現事業維持のための支出等)

VI. 四半期業績の推移

1. 損益計算書項目【連結】

(億円)

	2006年3月期				2007年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
売上高	1,358	1,468	1,673	1,513	1,539	1,654	1,814
売上原価	241	246	300	258	268	264	287
研究開発費	199	245	226	262	244	279	266
販売費・一般管理費	693	749	817	818	787	856	919
営業利益	225	228	329	175	241	255	342
営業外収支	9	9	14	11	10	11	19
経常利益	234	237	343	186	251	266	361
特別損益	△2	△3	0	△35	△4	△0	△1
税金等調整前四半期純利益	232	235	344	151	247	266	360
四半期純利益	149	152	220	113	158	167	233
1株当たり四半期純利益(円)	52.2	53.3	77.0	39.4	55.4	58.4	82.0

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2. 貸借対照表項目【連結】

<資産の部>

(億円)

	2006年3月期				2007年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
流動資産	3,687	3,928	4,085	4,326	4,066	4,267	4,074
固定資産	2,939	3,009	3,036	3,146	3,182	3,249	3,493
有形固定資産	1,232	1,248	1,258	1,287	1,273	1,286	1,304
無形固定資産	362	385	387	432	413	416	632
投資その他の資産	1,345	1,375	1,391	1,427	1,495	1,547	1,557
資産合計	6,626	6,936	7,121	7,472	7,248	7,516	7,566

<負債及び純資産の部>

(億円)

	2006年3月期				2007年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
流動負債	1,432	1,544	1,572	1,782	1,577	1,771	1,701
固定負債	442	427	405	406	399	385	385
負債合計	1,874	1,971	1,976	2,187	1,976	2,157	2,085
株主資本	4,601	4,754	4,859	4,973	4,989	5,048	5,126
評価・換算差額等	61	120	193	219	190	213	254
新株予約権	—	—	—	—	—	3	3
少数株主持分	90	92	92	93	94	96	97
純資産合計	4,752	4,965	5,144	5,285	5,273	5,359	5,481
負債純資産合計	6,626	6,936	7,121	7,472	7,248	7,516	7,566

*過年度の実績については当期の表示区分に組み替えております。

3. 資本的支出及び減価償却費の状況【連結】

(億円)

	2006年3月期				2007年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
資本的支出額	46	94	59	172	37	70	293
有形固定資産	36	53	42	78	32	48	57
無形固定資産	10	40	17	94	6	22	236
減価償却費	59	61	65	65	59	64	70

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

4. キャッシュ・フロー計算書項目【連結】

(億円)

	2006年3月期				2007年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	121	278	92	379	81	285	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89	△53	△101	△53	△118	△94	△309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101	△0	△117	0	△144	△108	△156
現金及び現金同等物の期末残高	1,365	1,601	1,502	1,833	1,644	1,750	1,347
フリー・キャッシュ・フロー	13	194	△30	258	7	217	△244

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出＋その他現事業維持のための支出等)

5. アリセプト地域別売上高（自社）【連結】

		2006年3月期				2007年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
日本	億円	99	106	121	97	115	124	140
米国	億円 (百万US\$)	235 (219)	291 (262)	316 (271)	356 (306)	331 (289)	396 (341)	417 (355)
英国	億円 (百万£)	3 (2)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (1)	3 (1)
フランス	億円 (百万€)	51 (38)	51 (38)	55 (40)	53 (37)	55 (38)	69 (47)	68 (45)
ドイツ	億円 (百万€)	19 (14)	21 (15)	21 (15)	18 (12)	18 (13)	18 (12)	20 (13)
欧州計	億円	73	74	79	73	77	90	91
アジア	億円	9	11	11	12	14	15	17
総計	億円	417	482	527	538	537	625	665

6. パリエット／アシフェックス地域別売上高（自社）【連結】

		2006年3月期				2007年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
日本	億円	63	68	85	59	71	75	90
米国	億円 (百万US\$)	253 (235)	282 (253)	308 (263)	301 (258)	293 (256)	312 (268)	343 (292)
英国	億円 (百万£)	15 (7)	13 (7)	13 (6)	10 (5)	10 (5)	10 (5)	8 (4)
ドイツ	億円 (百万€)	3 (2)	3 (2)	4 (3)	3 (2)	3 (2)	6 (4)	7 (4)
イタリア	億円 (百万€)	— (—)	— (—)	4 (3)	21 (15)	17 (12)	15 (10)	16 (10)
欧州計	億円	18	17	21	34	30	31	30
アジア	億円	7	8	10	10	11	12	11
総計	億円	341	374	424	404	405	430	475

7. ソネグラン地域別売上高（自社）【連結】

		2006年3月期				2007年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
米国	億円 (百万US\$)	36 (33)	39 (35)	37 (32)	15 (12)	10 (9)	6 (5)	9 (8)
欧州、アジア	億円	0	1	1	2	3	4	5
総計	億円	36	40	39	17	13	10	14

8. Eisai Inc. (米国)

		2006年3月期				2007年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
売上高	億円 (百万US\$)	529 (491)	618 (556)	701 (601)	700 (600)	659 (576)	739 (636)	815 (693)
営業利益	億円 (百万US\$)	30 (28)	49 (44)	70 (61)	37 (31)	55 (48)	69 (59)	76 (64)
四半期純利益	億円 (百万US\$)	20 (18)	34 (30)	48 (42)	29 (24)	39 (34)	47 (41)	59 (50)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万US\$)	103 (95)	136 (122)	165 (142)	139 (119)	152 (132)	181 (156)	195 (166)

9. 損益計算書項目【個別】

(億円)

	2006年3月期				2007年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
売上高	790	819	933	777	829	872	949
売上原価	190	189	222	179	199	200	213
研究開発費	196	243	221	268	244	273	258
販売費・一般管理費	229	234	250	244	233	248	259
営業利益	175	153	240	86	153	151	219
経常利益	181	156	246	91	156	151	223
四半期純利益	116	101	159	64	101	101	143

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

10. 医療用医薬品主力製品売上高【個別】

(億円)

	2006年3月期				2007年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
アルツハイマー型痴呆(認知症)治療剤 アリセプト	99	106	121	97	115	124	140
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	78	82	89	72	79	80	87
プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤 パリエット	63	68	85	59	71	75	90
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	54	55	60	48	49	49	55
非イオン性造影剤 イオメロン	22	22	25	18	21	21	24
筋緊張改善剤 ミオナール	22	22	24	18	21	20	23
骨粗鬆症治療用ビタミンK ₂ 剤 グラケール	22	22	23	17	19	19	21
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	—	—	26	15	19	20	21
消化管検査前処置・低血糖治療剤 グルカゴンG・ノボ	11	11	13	9	10	11	12
虚血性心疾患治療剤 ニトロールR	12	11	12	9	10	10	11
アレルギー性疾患治療剤 アゼプチン	8	5	7	9	6	5	7
その他	119	117	135	95	112	107	123
医療用医薬品計	509	522	620	464	534	541	612

*「アクトネル」は2005年10月より当社が販売し、売上を計上しております。

11. 医薬品輸出高【個別】

(億円)

	2006年3月期				2007年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
アリセプト	63	48	61	55	54	59	47
パリエット/アシフェックス	61	70	62	76	65	67	70
その他	12	10	9	12	6	14	11
医薬品輸出計	136	128	132	143	124	140	128

12. 一般用医薬品等主力製品グループ売上高【個別】

(億円)

	2006年3月期				2007年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	20	22	25	16	21	23	25
メコバラミン主剤「ナボリンEB錠」等 ナボリンググループ	3	4	4	3	4	6	5
天然ビタミンE剤「ユベラックスα2」等 ビタミンEグループ	4	5	6	3	4	5	5
緑の胃ぐすり「サクロン」等 サクロングループ	4	5	6	4	4	4	5
その他	8	9	14	11	10	12	16
一般用医薬品等計	40	45	54	37	43	50	57

Ⅶ. 主要開発品

2006年10月からの進捗

1. 米国でアリセプトの高度アルツハイマー型痴呆(認知症)の効能追加の承認取得
2. 欧州でイノベロンのレノックス・ガストー症候群併用療法の承認取得
3. 国内でパリエットのヘリコバクター・ピロリ除菌療法にかかる効能および用法追加の承認取得
4. 国内でE2014の痙性斜頸の承認申請
5. 国内でワソランの心房細動、発作性上室性頻拍の効能追加の承認申請
6. 欧州で、E7389の乳がんを対象としたフェーズⅢおよび肉腫を対象としたフェーズⅡを開始
7. 国内でD2E7のクローン病を対象としたフェーズⅡ/Ⅲを開始
8. 国内でE0167の肝細胞がん再発抑制に関する臨床試験を中止

1. 海外開発品状況

1-1 承認取得品

製品名 (開発品コード)	地域	承認時期	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
アリセプト (E2020) (効能追加)	米国	2006年10月 承認	高度アルツハイマー型痴呆(認知症)の効能追加 本剤はすでに軽度および中等度のアルツハイマー型痴呆(認知症)治療剤として承認を取得していますが、高度アルツハイマー型痴呆(認知症)の承認を米国で取得しました。	錠剤	自社
イノベロン (E2080)	欧州	2007年1月 承認	抗てんかん剤(一般名:ルフィナマイド) 他剤との併用で難治性のてんかんにも効果を示す新規構造を持つ抗てんかん剤です。欧州ではオーファン指定を受けたレノックス・ガストー症候群の併用療法の効能で承認を取得しました。	錠剤	ノバルティス

1-2 申請中開発品(準備中含む)

製品名 (開発品コード)	地域	申請時期 (予定含む)	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
アリセプト (E2020) (効能追加)	米国 (欧州)	2002年9月 申請 申請準備中	脳血管性痴呆(認知症)の効能追加 本剤はすでにアルツハイマー型痴呆(認知症)治療剤として承認を取得していますが、米国において脳血管性痴呆(認知症)の効能追加を申請中です。 欧州では2004年4月に申請を取り下げましたが、有効性を立証する追加データを取り揃え、再度申請を目指します。	錠剤	自社
アリセプト (E2020) (剤形追加)	欧州	2004年5月 申請	液剤の剤形追加 本剤はすでに錠剤で承認を取得していますが、嚥下困難な患者様に配慮し、液剤の剤形追加を欧州で申請中です。	液剤	自社
E2080	米国	2005年11月 申請	抗てんかん剤(一般名:ルフィナマイド) 米国ではオーファン指定を受けたレノックス・ガストー症候群および成人の部分てんかんの併用療法で申請中です。 (米国でのブランド名は検討中)	錠剤	ノバルティス
アリセプト (E2020) (効能追加)	欧州	2006年5月 申請	高度アルツハイマー型痴呆(認知症)の効能追加 欧州では相互認証方式に基づき、高度アルツハイマー型痴呆(認知症)の効能追加を申請中です。	錠剤	自社
ガスマチン	アジア	申請準備中 2006年度 申請予定	消化管運動機能改善剤(一般名:クエン酸モサブリド) 本剤は選択的なセロトニン5-HT ₄ 受容体アゴニストであり、アセチルコリン遊離の増大を介して消化管運動促進作用および胃排出促進作用を示します。アセアン諸国等10カ国での承認申請準備中です。	錠剤	大日本住友

1-3 臨床試験中開発品（フェーズⅢ～Ⅱ）

製品名 (開発品コード)	地域	開発 段階	薬効/作用または分類	剤形	オリジン	申請 予定時期
アリセプト (E2020) (効能追加)	欧州	Ⅲ	パーキンソン病に伴う痴呆(認知症)の効能追加 本剤はすでに軽度および中等度のアルツハイマー型痴呆(認知症)治療剤として承認を取得していますが、パーキンソン病に伴う痴呆(認知症)の効能追加に向けたフェーズⅢが進行中です。	錠剤	自社	2007年度
E2007	米国 欧州	Ⅲ Ⅲ	パーキンソン病治療剤/AMPA受容体拮抗剤 本剤はグルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体に選択的に拮抗し、パーキンソン病における効果を期待しています。米国および欧州でパーキンソン病を対象としたフェーズⅢが進行中です。	錠剤	自社	2007年度
E5564	米国 欧州	Ⅲ Ⅲ	敗血症治療剤/エンドトキシン拮抗剤(一般名: エリトラン) 本剤はエンドトキシン拮抗作用を示し、種々のグラム陰性菌由来のエンドトキシンに起因する重症敗血症を目標としていた有効性および安全性が確認されました。フェーズⅢが進行中です。	注射	自社	2009年度
E7389	米国 米国 欧州	Ⅱ Ⅲ Ⅲ	抗がん剤(乳がん)/微小管伸長阻害剤 本剤はカイメン由来のハリコンドリンB抗腫瘍活性本体の誘導体です。微小管の伸長を阻害し細胞分裂を抑制することにより抗腫瘍活性を示します。乳がんでのPOCに成功し、米国でサブパートH申請用試験およびフェーズⅢが進行中です。あわせて欧州で乳がんを対象としたフェーズⅢを開始しました。	注射	自社	2007年度 サブパートH 申請予定
AS-3201	米国 欧州	Ⅲ	糖尿病合併症治療剤/アルドース還元酵素阻害剤 本剤は強力なアルドース還元酵素阻害作用に基づく糖尿病合併症治療剤を目指しています。米国で糖尿病性神経障害を対象としたフェーズⅢが進行中です。	錠剤	大日本住友	2009年度
クレブジン	アジア	Ⅲ 準備中	慢性B型肝炎治療剤(一般名: クレブジン) DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。中国でフェーズⅢ準備中です。なお、新たな臨床試験を必要としないアジア諸国においては2006年度中の承認申請を目指して準備中です。	カプセル	ブグアン	
アリセプト (E2020) (効能追加)	米国 欧州	Ⅱ Ⅱ	片頭痛予防の効能追加 本剤はすでに軽度および中等度のアルツハイマー型痴呆(認知症)治療剤として承認を取得していますが、片頭痛予防の効能追加に向けたフェーズⅡが進行中です。	錠剤	自社	
E2007	米国 欧州	Ⅱ Ⅱ	てんかん・多発性硬化症治療剤、片頭痛予防/AMPA受容体拮抗剤 本剤はグルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体に選択的に拮抗し、てんかん、多発性硬化症、片頭痛予防における効果を期待しています。	錠剤	自社	
E7389	米国 欧州	Ⅱ Ⅱ	抗がん剤(非小細胞肺癌、前立腺がん、肉腫)/微小管伸長阻害剤 本剤はカイメン由来のハリコンドリンB抗腫瘍活性本体の誘導体です。微小管の伸長を阻害し細胞分裂を抑制することにより抗腫瘍活性を示します。乳がんでのPOCに成功し、フェーズⅢならびにサブパートH申請用試験が進行中です。また、非小細胞肺癌でのPOCに成功し、前立腺がんおよび肉腫を対象としたフェーズⅡが進行中です。	注射	自社	
E5555	米国 欧州	Ⅱ Ⅱ	急性冠症候群治療剤/トロンビン受容体拮抗剤 本剤はトロンビン受容体拮抗作用に基づき血小板凝集抑制作用と平滑筋増殖抑制作用を示します。急性冠症候群を対象としたフェーズⅡが進行中です。	錠剤	自社	2010年度

※アリセプトの欧州でのパーキンソン病に伴う痴呆(認知症)の効能追加申請予定時期を2006年度から2007年度に変更いたしました。

- ・ POC (Proof of Concept : 創薬概念の検証) : 想定した作用メカニズムの有用性を臨床の場で検証すること
- ・ サブパートH申請 : 重症または生命に危険を与える病気に対する新薬のうち、一定の要件を備えたものに対して、米国食品医薬品局が加速承認する申請制度

2. 国内開発品状況

2-1 承認取得品

製品名 (開発品コード)	承認時期	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
パリエット (E3810) (効能追加)	2007年1月 承認	ヘリコバクター・ピロリ除菌療法にかかる効能および用法追加 本剤は国内においてすでに胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群の承認を取得していますが、ヘリコバクター・ピロリ除菌療法にかかる効能および用法追加について承認を取得しました。	錠剤	自社

2-2 申請中開発品

製品名 (開発品コード)	申請時期	薬効/作用または分類	剤形	オリジン
T-614	2003年9月 申請	リウマチ治療剤（一般名：イグラチモド） 本剤は炎症性のサイトカインの産生、リンパ球増殖および免疫グロブリン産生を抑制し、関節リウマチに対する改善効果を期待しています。	錠剤	富山化学
タンボコール (E0735) (効能追加)	2004年12月 申請	発作性心房細動・粗動の効能追加 本剤はすでに頻脈性不整脈（心室性）治療剤として承認を取得していますが、発作性心房細動・粗動の効能追加について申請中です。	錠剤	3M
アリセプト (E2020) (効能追加)	2005年12月 申請	高度アルツハイマー型痴呆（認知症）の効能追加 本剤はすでに軽度および中等度のアルツハイマー型痴呆（認知症）治療剤として承認を取得していますが、高度アルツハイマー型痴呆（認知症）の効能追加について申請中です。	錠剤	自社
D2E7	2005年12月 申請	リウマチ治療剤/ヒト抗ヒトTNFαモノクローナル抗体 （一般名：アダリムマブ） 本剤は自己免疫疾患の炎症反応に関わる中心的なサイトカイン（TNF α ）を中和することにより関節リウマチへの効果を期待しています。関節リウマチの効能で申請中です。	注射	アボット
パリエット (E3810) (効能追加)	2006年3月 申請	非びらん性胃食道逆流症の効能追加 本剤は国内においてすでに胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群の承認を取得していますが、非びらん性胃食道逆流症の効能追加について申請中です。	錠剤	自社
パリエット (E3810) (効能追加)	2006年8月 申請	ヘリコバクター・ピロリ二次除菌の効能追加（抗生剤との併用療法） ヘリコバクター・ピロリ二次除菌（一次除菌不成功の場合に抗生剤の組み合わせをかねて実施する除菌療法）の効能追加について申請中です。	錠剤	自社
E2014	2006年12月 申請	痙性斜頸治療剤/B型ボツリヌス毒素 ボツリヌス毒素が神経筋接合部でコリン作動性神経終末に作用し、アセチルコリンの遊離を阻害することで筋を弛緩させます。痙性斜頸の効能で申請しました。	注射	ソルステイス・ ニューロ サイエンス
ワソラン (E0103) (効能追加)	2007年1月 申請	心房細動、発作性上室性頻拍の効能追加/塩酸ペラパミル 本剤はすでに虚血性心疾患治療剤として承認を取得しておりますが、心房細動、発作性上室性頻拍の効能で申請しました。	錠剤	アボット

2-3 臨床試験中開発（フェーズⅢ～Ⅱ）

製品名 (開発品コード)	開発 段階	薬効/作用または分類	剤形	オリジン	申請 予定時期
KES524	Ⅲ	肥満症治療剤/脳内セロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害 （一般名：シブトラミン） 本剤は脳内の神経伝達物質であるセロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害に基づく中枢作用による満腹感の亢進と体内のエネルギー消費の亢進により、体重の減少効果を期待しています。	カプセル	アボット	2007年度
E0302	Ⅱ/Ⅲ	筋萎縮性側索硬化症（ALS）/メコバラミン 末梢性神経障害治療剤として広く使われているメコバラミンについて、新たに筋萎縮性側索硬化症を対象としたフェーズⅡ/Ⅲを開始しました。	注射	自社	
D2E7	Ⅱ/Ⅲ	乾癬、クローン病/ヒト抗ヒトTNFαモノクローナル抗体 （一般名：アダリムマブ） 本剤はすでに関節リウマチを効能に申請中ですが、乾癬を対象としたフェーズⅡ/Ⅲが進行中です。さらにクローン病を対象としたフェーズⅡ/Ⅲを開始しました。	注射	アボット	2007年度 (乾癬)
イオメロン (E7337) (用法用量追加)	Ⅱ	コンピュータ断層撮影における用法・用量の追加 本剤はすでにコンピュータ断層撮影における造影等の効能・効果で承認を取得していますが、コンピュータ断層撮影における用法用量追加を目指しています。	注射	ブラッコ	
E7210 (一時開発中断中)	Ⅱ	超音波造影剤 微小気泡（マイクロバブル）が超音波を反射することを利用した造影剤です。現在、開発を一時中断しています。	注射	ブラッコ	

※E0167の国内における肝細胞がん再発抑制の臨床試験は中止いたしました。

VIII. 主なイベント

年月	概要
2007年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ パリエット錠10mg、日本でヘリコバクター・ピロリ除菌療法にかかる効能および用法追加の承認を取得〈1月30日リリース〉 ・ 抗てんかん剤イノベロン、欧州委員会より、レノックス・ガストー症候群の併用療法について販売承認を取得〈1月22日リリース〉 ・ 米国ボストン研究所の新研究棟が完成〈1月17日米国東部時間〉
2006年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ B型ボツリヌス毒素製剤E2014、日本で痙性斜頸の効能で承認申請
2006年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポルトガルに医薬品販売子会社を設立〈11月21日リリース〉 ・ 抗てんかん剤イノベロン、欧州医薬品審査庁の医薬品委員会より、レノックス・ガストー症候群の併用療法について販売承認勧告を取得〈11月20日リリース〉 ・ 米国ノースカロライナ工場で抗がん剤の生産・製剤化研究を担う新施設の起工式を実施〈11月13日米国東部時間〉 ・ アレルギーによる鼻炎や皮膚症状に効くスイッチOTC ハイガードを新発売〈10月31日リリース〉
2006年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社子会社（三光純薬株式会社）の通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ〈10月30日リリース〉 ・ 抗がん剤4品目の戦略的製品買収に関する米国ライガンド社との契約が発効〈10月26日リリース〉 ・ 三光純薬株式会社、富士レビオ株式会社と全自動化学発光酵素免疫測定システム ルミパルスで測定可能な間質性肺炎診断補助マーカーKL-6測定試薬の共同研究開発契約を締結〈10月19日リリース〉 ・ 当社子会社（三光純薬株式会社）の中間業績予想の修正に関するお知らせ〈10月19日リリース〉 ・ アリセプト、米国で高度アルツハイマー型痴呆(認知症)の効能追加の承認を取得〈10月14日リリース〉 ・ 米国におけるアシフェックスの後発品申請に対する物質特許侵害訴訟の略式判決について〈10月9日リリース〉 ・ カン研究所が神戸医療産業都市に移転し、研究活動を開始〈10月2日リリース〉 ・ シンガポールに臨床研究子会社を設立
2006年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 胃炎・胃潰瘍治療剤セルベックスカプセル50mgのジェネリック医薬品に関する不正競争防止法等に基づく控訴裁判の判決について〈9月27日リリース〉 ・ 米国ライガンド社と抗がん剤4品目の戦略的製品買収に関する契約を締結〈9月8日リリース〉

*当該イベントの実施年月に準じて記載しております。従いましてリリース日と記載年月欄が必ずしも一致しておりません。

年月	概要
2006年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ToSTNeT-2による自己株式の取得結果に関するお知らせ 〈8月30日リリース〉 ・ ToSTNeT-2による自己株式の買付けに関するお知らせ 〈8月29日リリース〉 ・ 米国におけるアリセプト口腔内崩壊錠の後発品申請に対する訴訟の提起について 〈8月4日リリース〉
2006年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非オピオイド系重度慢性疼痛治療剤プリアルト、英国およびドイツで販売開始 〈7月31日リリース〉 ・ 当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針の継続について 〈7月31日リリース〉 ・ 自己株式の取得に関するお知らせ 〈7月31日リリース〉 ・ ソルバイファーマシューティカルズ社の腓外分泌機能不全治療剤SA-001の日本を対象とした共同開発・販売契約を締結 〈7月27日リリース〉 ・ テバ社とラサジリンに関する契約を終了 〈7月12日リリース〉 ・ ストックオプションの内容等確定に関するお知らせ 〈7月10日リリース〉 ・ シンガポールの医薬品販売子会社が営業活動を開始 〈7月4日リリース〉
2006年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択的エストロゲン受容体モジュレーターをラディウス社に導出 〈6月29日リリース〉 ・ ストックオプションの割当に関するお知らせ 〈6月23日リリース〉
2006年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ エーザイ・ユーエスエー・インクの解散を決議 〈5月19日リリース〉 ・ 定款一部変更に関するお知らせ 〈5月16日リリース〉 ・ ストックオプションとして新株予約権を発行する件 〈5月16日リリース〉 ・ アリセプト、欧州で高度アルツハイマー型痴呆(認知症)の効能追加を相互認証方式に基づき申請 〈5月16日リリース〉 ・ 日東電工株式会社とアリセプトの経皮吸収型テープ製剤に関する共同開発契約を締結 〈5月10日リリース〉 ・ 次世代のアルツハイマー病治療剤E2012を臨床導入 〈5月9日リリース〉 ・ シンガポールに医薬品販売子会社を設立
2006年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報を含む書類の紛失について 〈4月21日リリース〉 ・ 大日本住友製薬株式会社と消化管運動機能改善剤ガスモチンのアセアン諸国等を対象としたライセンス契約を締結 〈4月17日リリース〉 ・ エーザイ・アール・アンド・ディー・マネジメント株式会社を設立 ・ 第Ⅴ期中期戦略計画「ドラマティック リープ プラン」スタート

*当該イベントの実施年月に準じて記載しております。従いましてリリース日と記載年月欄が必ずしも一致しておりません。